

平成26年11月14日

第14回超深地層研究所跡利用検討委員会資料
資料-2

瑞浪超深地層研究所の 施設活用について

独立行政法人日本原子力研究開発機構

バックエンド研究開発部門

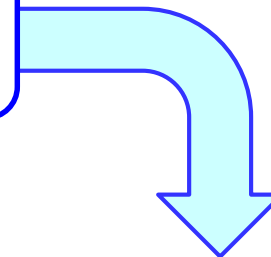
東濃地科学センター

写真：IAEAトレーニングコースにおける岩石観察実習

これまでの経緯と報告事項

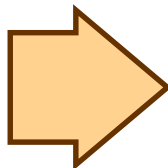
【当面の施設活用方策】

第3回跡利用検討委員会（H15年8月19日）でのご承認
本委員会でのご審議に基づき、事務局（原子力機構）にて案を作成し、本委員会でご審議して頂きながら行う。



【前回の委員会での主なご意見】

- 科学的研究を進める方向での施設活用
- 地域の機関とのタイアップを引き続きお願いしたい。



【今回の委員会での報告事項】

- 体験学習への取り組み
- 地域への広報活動
- 地域の機関とのタイアップ
- 研究坑道の活用状況
- 研究坑道の施設供用・共同研究

学生を対象とした先端科学体験

【スーパーサイエンスハイスクール】

文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、科学技術系人材の育成に資する。

- 平成26年 4月：私立静岡北中学校・高等学校（34名）
- 平成26年 6月：岐阜県立恵那高等学校（85名）
- 平成26年12月：名城大学附属高等学校（60名予定）



排水処理設備の見学

【講師派遣】

◆岐阜大学への集中講義（平成26年9月：岐阜大学）



各イベントへの出展



おもしろ科学館2014inみずなみ（平成26年11月）

- ◆TOKI-陶器祭り（平成26年4月：土岐市）
- ◆サイエンスフェア（平成26年7月：サイエンスワールド）
- ◆美濃源氏七夕まつり（平成26年8月：瑞浪市）
- ◆おもしろ科学館2014inみずなみ（平成26年11月：瑞浪市）

【事業説明会の開催】

【自治体】(10ヵ所)

岐阜県、瑞浪市、土岐市 など

【地元区】(6ヵ所)

戸狩区、山野内区、月吉区、河合区、定林寺区、
賤洞町内会

【その他】(7ヵ所)

中部経済産業局、中部電力(株) など

【広報誌における情報発信】

【主な配布先】(配布部数 約500部)

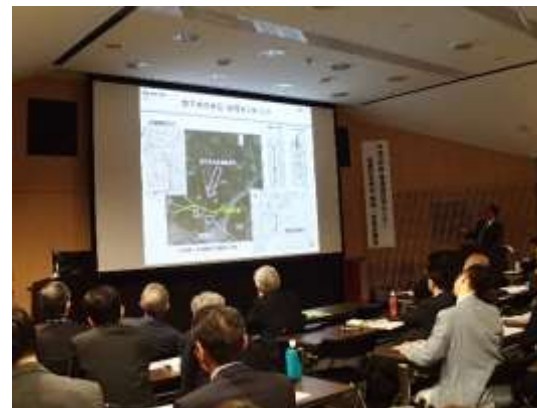
瑞浪市、土岐市、戸狩区、山野内区、月吉区 など



平成14年4月より毎月1回発行
平成26年10月号で151号

【地層科学研究 情報・意見交換会の開催】

東濃地科学センターで実施している地層科学研究の研究成果の紹介(毎年開催)



情報・意見交換会(平成26年度)
(参加者:約140名)

主な報道関係等

- 【平成25年10月】情報意見交換(CBCテレビ)
- 【平成25年11月】国際原子力機関 瑞浪で研修会(NHK総合)
- 【平成25年12月】瑞浪超深地層研、核のゴミ処分法探る(日経産業新聞)
- 【平成26年 2月】深さ500mの“地下坑道”公開(東海テレビ)
- 【平成26年 4月】どうする?「核のゴミ」(メ〜テレ)
- 【平成26年 5月】瑞浪超深地層研 事業計画(ぎふチャン)
- 【平成26年 9月】超深地層研 研究期間を延長へ(ぎふチャン)
- 【平成26年 9月】最先端の地層処分研究を探る(BSフジ)

など

【多治見ビジネスフェア「き」業展への出展】

原子力機構が所有する特許や技術を活用した製品を紹介

- ・ 水と親和性などを改良した和紙で作った「金屏風」
- ・ チタン系金属の溶接技術に係る特許技術を利用した軽くて錆びない「理容はさみ」



多治見ビジネスフェア「き」業展（平成26年1月）

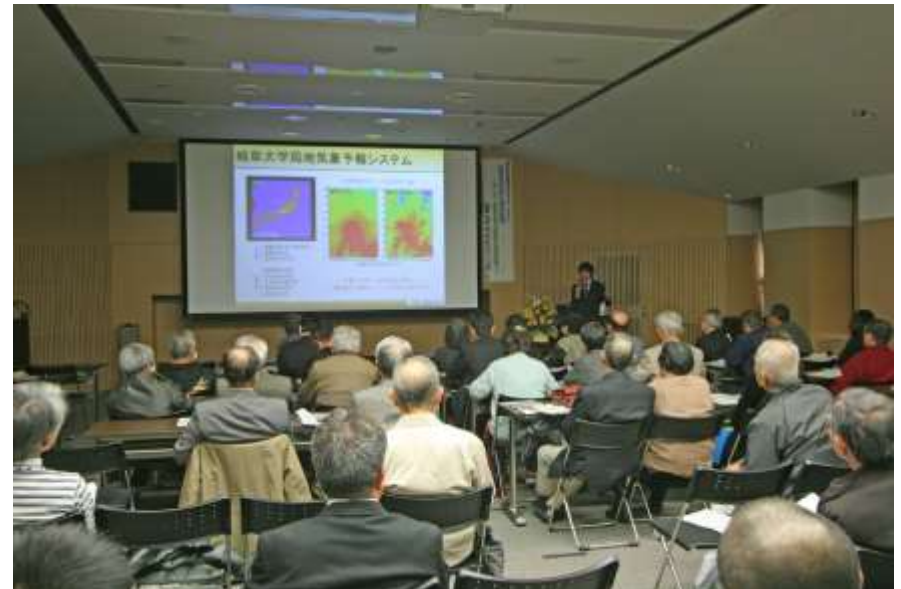
【東濃地科学センターセミナーの開催】

【講師】吉野 純 氏

（岐阜大学大学院 工学研究科
環境エネルギー専攻 准教授）

【講演】「地球温暖化と異常気象」

～スーパー台風の想定被害と防災対策～



第28回東濃地科学センターセミナー（平成26年2月）
（参加者：約80名）

地域の機関とのタイアップ

【サイエンスワールドとの共催】

平成24年から毎年開催（毎年1回開催）

もぐる！地下300m！親子で体験！
深地層探検と3Dレプリカづくり！

（実施日）
平成26年8月21日
（参加人数）
22組44名（親子参加）

サイエンスワールドでは、アンモナイトのレプリカづくり、瑞浪超深地層研究所では、地下300mの研究坑道に入り、岩石の観察や地下水の分析を実施。



pH試験紙を用いたpH測定



ルーペを用いた花崗岩の観察

研究坑道の活用状況

説明用パネルの更新・追加

- ◆深度300mステージは、パネル内容を適宜更新・追加
- ◆深度500mステージは、説明用のパネルを追加



深度300m研究アクセス坑道 100m計測横坑



深度500m研究アクセス南坑道

施設見学会

【見学者数】

(平成25年8月～平成26年10月)

見学者総人数	うち、 入坑者総人数
3,057 人	1,990人



毎月1回の施設見学会
(深度300m研究アクセス坑道)

研究坑道の施設供用・共同研究

共同研究



岩盤中の物質の移動に関するボーリング孔
電力中央研究所との共同研究
(深度300mボーリング横坑(換気立坑))



ミュオン粒子を利用した地質構造探査手法の開発に関する研究
川崎地質株式会社との共同研究
(深度300m研究アクセス坑道 100m計測横坑)

施設供用



原子核乾板の保管ボックス

名古屋大学におけるニュートリノ
捕捉用原子核乾板の貯蔵
(深度200mボーリング横坑 主立坑)



東濃地震科学研究所における応力計の設置
(深度300m研究アクセス坑道 11m計測横坑)